

正面

[illegible]



B12

ユーザーマニュアル

基本機能
ボタン説明
外観回路図
モード説明
その他機能
仕様とアクセサリ
ご注意事項

動作状態

LEDインジケータ説明

電源ボタン 赤色のLEDが点灯し、充電状態が100%に達したときに点滅します。

TFカードモード 一度電源が切られ、再度電源が入ると、充電状態のLEDが点滅し、TFカードが読み込まれる。

音源モード 赤色のLEDが点灯し、音源が読み込まれる。

電圧モード 赤色のLEDが点灯し、電圧が読み込まれる。

充電ランプ 充電中、充電が完了すると、充電ランプが点滅し、充電完了の音が鳴ります。

基本動作操作

電源オン 電源ボタンを押すと、電源がオンになり、充電状態のLEDが点滅します。

電源オフ 電源ボタンを押すと、電源がオフになり、充電状態のLEDが点滅します。

充電ランプ 充電中、充電が完了すると、充電ランプが点滅し、充電完了の音が鳴ります。

モード説明

充電モード 充電モードでは、充電状態のLEDが点滅し、充電完了の音が鳴ります。

音源モード 音源モードでは、音源が読み込まれ、再生されます。

電圧モード 電圧モードでは、電圧が読み込まれ、表示されます。

TFカード再生 TFカード再生モードでは、TFカードが読み込まれ、再生されます。

Bluetoothモード Bluetoothモードでは、Bluetoothで接続し、再生されます。

Line-inモード Line-inモードでは、Line-inケーブルで接続し、再生されます。

FMラジオ FMラジオモードでは、FMラジオが再生されます。

FMラジオ FMラジオモードでは、FMラジオが再生されます。

FMラジオ FMラジオモードでは、FMラジオが再生されます。

仕様とアクセサリ

電源ボタン 電源ボタンを押すと、電源がオンになり、充電状態のLEDが点滅します。

充電ランプ 充電中、充電が完了すると、充電ランプが点滅し、充電完了の音が鳴ります。

充電モード 充電モードでは、充電状態のLEDが点滅し、充電完了の音が鳴ります。

音源モード 音源モードでは、音源が読み込まれ、再生されます。

電圧モード 電圧モードでは、電圧が読み込まれ、表示されます。

TFカード再生 TFカード再生モードでは、TFカードが読み込まれ、再生されます。

Bluetoothモード Bluetoothモードでは、Bluetoothで接続し、再生されます。

Line-inモード Line-inモードでは、Line-inケーブルで接続し、再生されます。

FMラジオ FMラジオモードでは、FMラジオが再生されます。

FMラジオ FMラジオモードでは、FMラジオが再生されます。

FMラジオ FMラジオモードでは、FMラジオが再生されます。

[illegible]

FCC Warning

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- ▶ -Reorient or relocate the receiving antenna.
- ▶ -Increase the separation between the equipment and receiver.
- ▶ -Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- ▶ -Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement. The device can be used in portable exposure condition without restriction.